

公開質問状

～愛知県の文化ビジョンをお聞かせください～

NPO法人世界劇場会議名古屋
理事長 下斗米 隆

はじめに

NPO法人世界劇場会議名古屋と申します。私どもは1992年愛知芸術文化センターの開設を機に、劇場に関わるさまざまなジャンルの者が一同に会し劇場のあるべき姿を考え、議論し、提言する組織として設立され、翌1993年には第一回世界劇場会議を開催、以来一貫して劇場と地域の文化、地方文化行政などをテーマとした国際フォーラムを開催し、様々な提言などを行って来ております。

この度、愛知県知事選挙が2011年2月6日に行われることとなりましたが、私どもとしては立候補者の皆様にこの地方の文化政策及び文化ビジョンについてお考えをお聞きしたく、公開質問状を出させていただくことにしました。次ページの質問に、皆さま方の率直なご意見をお聞かせください。

なお、この公開質問状は、私どものホームページ上及び2011年2月11日(金)、12日(土)に開催する世界劇場会議名古屋国際フォーラム2011の事前PRツール上などで公開するとともに同フォーラム会場にて発表、配布の予定です。お忙しい折とは思いますが2011年1月15日(土)までに下記事務局まで郵送、FAX またはメールにてご返事をお送りください。ご協力をよろしくお願いいたします。

NPO法人世界劇場会議名古屋
名古屋市中区丸の内 1-14-12 グランビル 2B
TEL & FAX:052-232-2270/ E-mail:itcn@itc-nagoya.com
[URL:http://www.itc-nagoya.com](http://www.itc-nagoya.com)

愛知県の文化ビジョンについて

一、愛知県のこれからの文化芸術振興プランについて

2001年「文化芸術振興基本法」が施行され、地方公共団体は、その地域の特性に応じた文化芸術の振興のために必要な施策の推進を図るよう努めるものとするがあります。これに関して、あなたの愛知県のこれからの文化芸術振興プランを具体的にお聞かせください。特に、県という立場で何をすべきか、市町村の文化芸術振興施策とどのような差別化を図るべきかについて、お聞かせください。

一、「劇場法」と愛知芸術文化センターに関して

(社)日本芸能実演家団体協議会から提案され、来春の通常国会には議員立法もということで、いま多くの議論を集めている「劇場法」では、我が国の約2,500館の公立文化施設をおよそ50館の「創造する劇場」、200館の「観賞する劇場」に他を「交流する施設」に仕分け。「創造拠点劇場」の50館には年間数億の支援をされると言われています。私たちはこの「創造拠点劇場」には「愛知芸術文化センター」がふさわしいと考えておりますが、皆さまのお考えはいかがでしょうか。「劇場法」への可否とともにお考えをお聞かせ下さい。

一、あいちトリエンナーレについて

今年秋に開催された「愛知トリエンナーレ」への評価と、このイベントを今後も継続されるのか否かを、愛知県の芸術振興プランとかねあいも含めお聞かせ下さい。